

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 地理的分野 「教科（東京書籍）」

80時間（70%）

週	内容	小単元	主な学習内容（項目）	時間数	留意点	
第1編 世界のさまざまな地域						
第1章 世界の姿						
1	1, ア		①地球の姿を見てみよう	1	※空欄は通常の年間指導計画の時間数で対応。 ・六大陸と三大洋の名称や大きさ、位置関係、さまざまな地図の長所と短所等を扱う。 ※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。 ・緯度と経度、特定の国や都市の地球上の位置を適切に表すこと、世界の地域区分等を扱う。 ※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。 ・世界60か国以上の国の名称や位置を扱う。 ※学習内容の補充として、県教育委員会オンラインサポート授業を学校や各家庭などで視聴させることもよい。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。	
			②地球儀と世界地図とを比べてみよう			
			③地球上の位置を表そう	1		
			④世界の国々と地域区分			
			⑤主な国々の国名と位置	1		
3時間	この章の学習を確認しよう	家庭				
第2章 世界各地の人々の生活と環境						
2	1, イ		①世界のさまざまな住居	1	・①の内容は、授業の導入で活用する。 ・雨温図や写真資料を用いながら、寒帯及び冷帯地域の自然環境、また、人々の生活の様子や暮らしの変化を扱う。 ・②～⑦における学習の際に、各気候区の特徴を、雨温図、各気候区分図等と関連させながら必ず扱う。 ・主な宗教及び多様な生活を、自分たちの生活と比較して扱う。 ・「深めよう」は、⑨⑩の学習で取り扱うとよい。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。	
			②雪と氷の中で暮らす人々			
			③寒暖の差が激しい土地に暮らす人々			
			④温暖な土地に暮らす人々			
			⑤乾燥した土地に暮らす人々			
			⑥常夏の島で暮らす人々			
			⑦標高の高い土地に暮らす人々			
			⑧世界に見られるさまざまな気候と広がり	—		
			⑨人々の生活に根づく宗教	1		
			⑩伝統的な生活とその文化			
6時間	この章の学習を確認しよう	家庭				
第3章 世界の諸地域						
4	1, ウ	1. アジア州 —急速に進む成長と変化—	①アジア州をながめて	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。	
			②成長する東アジア① アジアNIESの出現	1		
			③成長する東アジア② 中国の発展	1		
			④東南アジアの発展と課題	1		
			⑤南アジアで急速に成長するインド	1		
			⑥資源の豊かな西アジア・中央アジア	1		
			アジア州の学習をふり返ろう	家庭		
			「深めよう」アジアで交流する文化			
			6時間			
			5			2. ヨーロッパ州 —国どうしの統合による変化—
②ヨーロッパ文化の共通性	1					
③進むヨーロッパ統合	1					
④ヨーロッパの課題とロシア連邦	1					
ヨーロッパ州の学習をふり返ろう	家庭					
「深めよう」環境に配慮されたヨーロッパ社会						
4時間						
6		3. アフリカ州 —特定の生産品にたよる生活からの変化—	①アフリカ州をながめて	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。	
			②アフリカの産業と新たな開発	1		
			③アフリカの課題と展望	1		
			アフリカ州の学習をふり返ろう	家庭		
「深めよう」大自然を生かした観光開発						
3時間						
7		4. 北アメリカ州 —盛んな農業や工業の特色—	①北アメリカ州をながめて	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ④の学習で取り扱う。	
			②広大な国土と工業化した農業	1		
			③工業の発展と工業地域	1		
			④産業を支える新しい文化と人々	1		
			北アメリカ州の学習をふり返ろう	家庭		
「深めよう」多民族社会を形成するアメリカ						
4時間						
8		5. 南アメリカ州 —開発の進展と環境問題—	①南アメリカ州をながめて	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。	
			②自然環境と共生する人々	1		
			③開発の進行とその影響	1		
			南アメリカ州の学習をふり返ろう	家庭		
「深めよう」南アメリカで活躍する日系移民						
3時間						
9		6. オセアニア州 —強まるアジアとの結び付き—	①オセアニア州をながめて	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。	
			②資源によるアジアとのつながり	1		
			③人々によるアジアとのつながり	1		
			オセアニア州の学習をふり返ろう	家庭		
			「深めよう」水没の危機があるとされるツバル			
3時間	この章の学習を確認しよう	家庭				
第4章 世界のさまざまな地域の調査						
1, エ			①情報を集めて調査テーマを決めよう	—	・地理的分野の最後に身近な地域の調査と統合し、実施するとよい。	
			②調査の準備をしよう			
			③調査をしよう			
			④調査のまとめをしよう			
			⑤調査の発表をしよう			
第2編 日本のさまざまな地域						
第1章 日本の姿						
2, ア			①日本の位置を調べよう	1	・世界的な視野から見た日本の位置の特色、標準時と時差の仕組みを必ず扱う。 ・「領域の範囲や変化とその特色」についての指導に当たった内容の取扱いについては、新学習指導要領の規定による。 ・日本の輪郭・形状の特色、7地方区分を、地方名も含めて扱う。 ・都道府県や県庁所在地の名称と位置については、小学校での学習を生かす。 ・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。	
			②日本と世界との時差をとらえよう			
			③日本の領域の特色を見てみよう	1		
			【地理にアクセス】 日本列島を構成する島々 —竹島・北方領土・尖閣諸島—			
			④いろいろな見方で都道府県を探ろう	1		
			⑤日本をいくつかの地域に分けよう			
3時間	この章の学習を確認しよう	家庭				
第2章 世界から見た日本の姿						
2, イ	1. 世界から見た日本の自然環境		①世界の地形	1		
			②日本の山地と海岸	1		
			③日本の川と平地	1		
			【地理スキル・アップ】地形図の読み取り方①	1		
			④世界から見た日本の気候	1		
			⑤自然災害と防災への取り組み	1		
6時間	「深めよう」震災と防災・減災への取り組み					

12	2. 世界から見た日本の人口	①世界の人口分布と変化	1	・世界の人口についての特色や課題、日本の過疎・過密地域の特色、人々の暮らしへの影響を扱う。
		②日本の人口と過疎・過密問題	1	
13	3. 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業	①世界の資源・エネルギーと産業	1	・日本の工業については、小学校5年生の学習と重複する部分を考慮し、指導の精選を図る。 ①の学習で取り扱うとよい。
		②日本の資源・エネルギーと環境問題	1	
		③日本の農林水産業	1	
		④日本の工業	1	
14	4. 世界と日本の結び付き	⑤日本の商業・サービス業	1	・日本の工業については、小学校5年生の学習と重複する部分を考慮し、指導の精選を図る。 ①の学習で取り扱うとよい。
		⑥日本の商業・サービス業	1	
14	2. ウ	⑦「深めよう」さまざまな発電方法の特徴と課題	—	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
		⑧グローバル化が進む世界	1	
14	2. ウ	⑨日本各地を結ぶ交通・通信	1	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。
		⑩この章の学習を確認しよう	家庭	
第3章 日本の諸地域				
15	1. 九州地方 —環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし—	①九州地方の生活の舞台	1	・環境問題や環境保全を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		②九州地方の人々の営み	1	
15	2. 中国・四国地方 —都市と農村の変化と人々の暮らし—	③多様な環境問題と環境保全の取り組み	2	・人口や都市・村落を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		④工業化・都市化にともなう地域への影響	2	
15	2. 中国・四国地方 —都市と農村の変化と人々の暮らし—	⑤持続可能な社会を創る	2	・人口や都市・村落を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		⑥九州地方の学習をふり返ろう	家庭	
15	2. 中国・四国地方 —都市と農村の変化と人々の暮らし—	⑦「深めよう」屋久島の自然と人々の生活	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
		⑧中国・四国地方の生活の舞台	1	
15	2. 中国・四国地方 —都市と農村の変化と人々の暮らし—	⑨中国・四国地方の人々の営み	1	・人口や都市・村落を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		⑩都市の役割とその課題	2	
15	2. 中国・四国地方 —都市と農村の変化と人々の暮らし—	⑪高齢化が進む農村と町おこし	2	・人口や都市・村落を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		⑫交通網の発展による地域の変化	2	
15	2. 中国・四国地方 —都市と農村の変化と人々の暮らし—	⑬中国・四国地方の学習をふり返ろう	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
		⑭「深めよう」本州四国連絡橋と地域の結び付き	家庭	
16	3. 近畿地方 —歴史の中で形作られてきた人々の暮らし—	①近畿地方の生活の舞台	1	・歴史的背景を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		②近畿地方の人々の営み	1	
16	3. 近畿地方 —歴史の中で形作られてきた人々の暮らし—	③古都の成り立ちと現在	2	・歴史的背景を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		④都市と郊外の成り立ち	2	
16	3. 近畿地方 —歴史の中で形作られてきた人々の暮らし—	⑤現代に開発されたニュータウン	2	・歴史的背景を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		⑥近畿地方の学習をふり返ろう	家庭	
16	3. 近畿地方 —歴史の中で形作られてきた人々の暮らし—	⑦「深めよう」琵琶湖と環境保全の歩み	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
		⑧中部地方の生活の舞台	1	
17	4. 中部地方 —活発な産業を支える人々の暮らし—	②中部地方の人々の営み	1	・産業を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		③工業の発展と地域の変化	2	
17	4. 中部地方 —活発な産業を支える人々の暮らし—	④自然環境を生かした各地の農業	2	・産業を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		⑤世界と結び付く中部地方	2	
17	4. 中部地方 —活発な産業を支える人々の暮らし—	⑥中部地方の学習をふり返ろう	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
		⑦「深めよう」北陸の食文化	家庭	
18	5. 関東地方 —さまざまな地域と結び付く人々の暮らし—	①関東地方の生活の舞台	1	・他地域との結び付きを中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		②関東地方の人々の営み	1	
18	5. 関東地方 —さまざまな地域と結び付く人々の暮らし—	③首都・東京と各地との結び付き	2	・他地域との結び付きを中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		④各地との結び付きで成り立つ産業と生活	2	
18	5. 関東地方 —さまざまな地域と結び付く人々の暮らし—	⑤世界への窓口・日本の中心	2	・他地域との結び付きを中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		⑥関東地方の学習をふり返ろう	家庭	
18	5. 関東地方 —さまざまな地域と結び付く人々の暮らし—	⑦「深めよう」人口集中の課題と対策—横浜市を事例に考える	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
		⑧東北地方の生活の舞台	1	
19	6. 東北地方 —伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつづける人々の暮らし—	②東北地方の人々の営み	1	・生活・文化を中核とした考察を基に、地域的特色を追究させる。
		③祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり	2	
19	6. 東北地方 —伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつづける人々の暮らし—	④伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業	2	・生活・文化を中核とした考察を基に、地域的特色を追究させる。
		⑤過去からの継承と未来に向けた社会づくり	2	
19	6. 東北地方 —伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつづける人々の暮らし—	⑥東北地方の学習をふり返ろう	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
		⑦「深めよう」産業を活性化させる人の流れ—仙台市を事例に考える	家庭	
20	7. 北海道地方 —雄大な自然とともに生きる人々の暮らし—	①北海道地方の生活の舞台	1	・自然環境を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		②北海道地方の人々の営み	1	
20	7. 北海道地方 —雄大な自然とともに生きる人々の暮らし—	③自然の制約に適応する人々の工夫	2	・自然環境を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		④自然の制約や社会の変化を乗り越える	2	
20	7. 北海道地方 —雄大な自然とともに生きる人々の暮らし—	⑤自然の特色を生かした観光産業	2	・自然環境を中核とした考察を基に、地域的特色を捉えさせる。
		⑥北海道地方の学習をふり返ろう	家庭	
20	7. 北海道地方 —雄大な自然とともに生きる人々の暮らし—	⑦「深めよう」アイヌの人たちと多文化共生	家庭	・学習内容を整理させる等の課題を出し、確認する。 ・「深めよう」は、資料として読む等の課題を出し、確認する。
		⑧この章の学習を確認しよう	家庭	
第4章 身近な地域の調査				
21	2. エ	①身近な地域を見直そう	1	・世界のさまざまな地域の調査の学習内容も扱い実施する。
		②「地理スキル・アップ」地形図の読み取り方②	1	
21	2. エ	③テーマを決めて調査計画を立てよう	1	・世界のさまざまな地域の調査の学習内容も扱い実施する。
		④野外観察や聞き取り調査をしよう	1	
21	2. エ	⑤資料を調べて調査を深めよう	1	・世界のさまざまな地域の調査の学習内容も扱い実施する。
		⑥調査結果をまとめ、地域を見直そう	1	
21	2. エ	⑦発表会をして地域の将来像を考えよう	1	・世界のさまざまな地域の調査の学習内容も扱い実施する。
		⑧この章の学習を確認しよう	家庭	

※時間数の精選方法（例）

○小学校社会科の学習とのつながりを意識し、教育課程の見直しを図る。

小学校5年生の社会科において、我が国の国土の様子の学習をする中で、世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、地図や地球儀に関する内容を扱うため、中学校の生徒が学習をイメージしやすいという実態があり、時数を削減する場合は、Aの内容が比較的しやすい。この他の主な学習内容についても、指導者は、小学校での学習と重複する内容については、中学校の地理的分野ではじめて扱う学習内容と軽重を図り、基礎的・基本的な知識及び技能等を身に付けさせる時間を確保することが求められる。

○世界や日本の諸地域の学習は、自然環境等に関する内容は従来通りの時数をかけ実施する。

中学校地理的分野で扱う世界や日本の諸地域の自然環境に関する内容については、生徒たちに身に付けさせたい基礎・基本であり、一般的な教養ともなるため従来通りの指導時間を確保する。

○地域の調査の統合

新学習指導要領において、従来、位置付けられていた「世界の様々な地域調査」と「身近な地域の調査」は、「地域調査の手法」として統合された。令和2年度においても、これらを別々に実施することなく、まとめるなどして時数を確保する。

○教科書に掲載されている「深めよう」「この章の学習を確認しよう」は、家庭学習の時間に位置付ける。

学校の授業では、基礎的・基本的な知識及び技能等の習得に重点を置き、本教科書にある「深めよう」「この章の学習を確認しよう」については、基本的に家庭学習の時間に充て補充を図る。